

浅口市立鴨方西小学校 令和8年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和8年10月9日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<成果> ○国語科では、目的に応じて必要な情報を見つける問題や漢字の正答率が全国平均よりも高く、情報を読み取る力の定着が見られる。 ○算数科では、立方体の体積や図形、数量の関係の正答率が全国平均よりも高かった。 ○平均無回答率が国語 1.2%算数 1.0%と、時間配分に気を付け、粘り強く取り組んでいる。 <課題> ▲国語科では、情報と情報の関係について理解したり、筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えたりする力に課題が見られる。 ▲算数科では、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることや小数、分数の理解に課題が見られる。	<成果> ○自己有用感や社会貢献への意欲が高い。 ○課題解決に向けて自分から取り組んだり、友達との話し合いで自分の考えを深めたりできている児童が多く、主体的・対話的な学びが定着しつつある。 ○ICT 機器を日常的に活用できている。 <課題> ▲「分からないことに対して、学び方を考え、工夫できているか」について「当てはまる」と回答した児童が全国平均よりも低く、自立的な学習方法の確立が課題である。 ▲自分の考えをうまく伝えるための工夫した表現や発表に課題が見られる。



改 善 策 学 校 で の 取 組
① 校内研究を柱とした授業改善 ・学びを委ねる授業(教師の仕掛け・児童の思考のずれ) ・自己選択・自己決定 ・主体的に取り組める課題設定の工夫 ・見通しをもって学習に取り組む工夫(学習の手引きの活用) ・児童が「調べたい」「話し合いたい」と思えるような課題設定や発問の工夫(協働的な学び) ② 基礎学力向上のための取組 ・朝の学習(毎朝) ・質の高い自主学習の奨励(ポイント制による自己調整力の向上・きり賞表彰) ・メタ認知で定着を促す学習の振り返り ・読書量の増加 ③ 児童の表現力を高めるための取組 ・良質なインプットとアウトプット(受け取る側のリアクション、質問をする、振り返りの質の向上) ・読書による語彙力・表現力・集中力の向上 ➡以上2点を軸に、1年生から取組を継続して、児童の経験を積み重ねていく。
一貫教育 あい・かもがた学園 での取組
○カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図り、自立した学習者を育てる。 ○「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。 ○各校の授業参観や研修、情報交換の機会を設け、対話を通して考えを深めることや、振り返りを次の学びにつなげることについて、校種を超えて共通理解を図る。
家庭・地域へのお願い
○学校では自主学習を推奨しています。子どもが自主学習に意欲的・計画的に取り組めるよう、声掛けをお願いします。 ○「メディアコントロール週間」の期間中を中心に、「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活習慣や学習習慣を身に付けることができるよう、サポートや励ましをお願いします。 ○学習や生活等、様々な場面で子どもたちのよさや頑張りをほめてください。